

がっこうきょういくもくひょう  
学校教育目標

わたし  
私たちは  
しょうがいまな つづ  
生涯学び続けることができる人を育てます (知)  
みづか かんが ただ はんだん どりよくじっこう  
自ら考え正しく判断し、努力実行できる人を育てます (徳)  
じたのせいめい たいせつ しんしん けんこうなひと そだて  
自他の生命を大切にし、心身の健康な人を育てます (体)  
「まち」から学び、社会に貢献できる人を育てます (公)  
じたのみと あいきょうせい  
自他を認め合い共生できる人を育てます (関)

秘前  
努力 自律 敬愛  
どりよく じりつ けいあい  
よく っつ あい

## 「支え合う関係の中で育つ力」

こうちょう まつもと つよし  
校長 松本 剛

ツヨシさんは外出するときに家の鍵を忘れ忘れることが多く、「ちゃんと鍵をかけないと泥棒に入られてしまうよ。」とたびたび注意されることがありました。ある日、そのツヨシさんが「家に帰ったら、家の中が荒らされている！」とおおわそうだんきと大慌てで相談に来ました。どうやら鍵を忘れ忘れたまま外出し、泥棒に入られてしまったようです。

こうしたときに、どのような言葉をかけるでしょうか。

一つは、「だからいつも言っていたでしょう。」と、まず本人の至らなさを指摘する関わり方。もう一つは、「まず警察に連絡しよう。」など、今まさに直面している困りごとの相談にのる関わり方です。

ツヨシさんには確かに「鍵を忘れやすい」という課題があります。しかし、悪いのは泥棒であり、困っている人にまず向けるべきは安心につながる支えです。

不注意から転んでケガをして血を流している人に、ケガの手当てをする前に、不注意を指摘するような話をしても痛みでその話を聞くことはできないでしょう。不注意のことについては、ケガの手当てが終わって痛みが治まってから、話してあげたほうがよいのだと思います。

ツヨシさんの例でいうと、警察に連絡をして、心配なことや不安なことの対処が終わってから、同じような被害を受けないように、鍵の忘れ忘れがなくなる方法を考えたり教えてあげたりするとよいのだと思います。

また、このことは「誰かを支える」という一方向の関係にとどまるものではありません。完璧な人はいません。誰もが課題をもち、ときに支えられ、ときに支える側になります。だからこそ大切なのは、一方的な関係ではなく、互いに支えあえる関係を築いていくことです。それは、生徒のみなさん同士だけでなく、教職員同士、教職員と生徒、そして保護者の皆様との関係においても同じです。

5月、1、2年生の校外学習、3年生の修学旅行がありました。  
私も修学旅行には引率し、移動時の待ち時間の様子、班別行動、ホテルでの過ごし方、学年レク等で、3年生のみさんの頑張りを直接見届けることができました。また、1年生、2年生が校外学習で頑張った様子や前向きな取組を学年の先生から聞きました。  
みなさん、頑張りましたね！

行事は、教室での授業や普段の生活からは得られない達成感や学びがあります。一方で、友人関係や役割分担などを通して、普段は表に出にくい悩みが表に現れやすくなる機会でもあります。様々な違いをもつ仲間と関わる中で、戸惑いや葛藤が生まれることは自然なことです。  
しかし、その一つひとつの経験は、他者を理解し、自分自身を見つめる大切な学びの機会でもあります。そして、困っている誰かに気づき、その人に寄り添えることもまた、大きな成長です。

これからも、上の宮中学校が「困っているときに相談できる」「安心してSOSを出せる」そして「誰かの困りごとに自然と手を差し伸べられる」——そのような場所により近づいていけるよう、力を合わせていきましょう。

## 「1年校外学習の報告」

5月19日(火)、1年生は校外学習に行っていました。  
当日はよく晴れた中バスに乗ってソレイユの丘へ向かい、カレー作りとチームビルディングを体験しました。

カレー作りはかまどでお米を炊き、野菜の下ごしらえをし、炒めて煮る工程を生徒たちで分担して行いました。慣れないピーラーでじゃがいもの皮をむいたり、煙と戦いながらかまどをうちわであおいだり、苦戦しながら調理する班がほとんどでしたが、無事完成させたカレーを嬉しそうにほおぼる姿が見られました。

チームビルディングは17、8人のチームを作り、じゃんけんや話し合いを取り入れたアクティビティを行いました。協力して絵を完成させるパズルゲームなどに、生徒たちは頭を悩ませながらも笑顔で取り組みました。

カレー作りもチームビルディングも、班員同士で声を掛け合いながら、力を合わせる事が重要です。生徒たちは今回の経験を通して、仲間と協力する大切さをよく学んだと思います。

## 「2年校外学習の報告」

2年生は横浜校外学習を実施しました。スローガンの「有言実行～判断力を磨こう～」のもと、班ごとに協力して活動しました。自分たちで考え、状況に応じて判断しながら行動することを目標に、一人ひとりが責任をもって取り組みました。

各班で企業を訪問し、SDGsに関する取組について学習しました。環境問題や地域との関わりなど、企業ごとにさまざまな工夫が行われていることを知り、普段の生活とのつながりについて考える貴重な機会となりました。JICA横浜では、展示や資料を通して世界の暮らしや国際協力について学び、日本と世界とのつながりを実感することができました。昼食は各班で計画を立て、横浜ならではの食事を楽しみました。予定通りに進まない場面でも、自分たちで相談しながら判断して行動する様子が見られました。

ねんしゅうがくりょこう ほうこく  
「3年修学旅行の報告」

「みなさんこんにちは！」

わたし ねんせい なが じかん へいわがくしゅう せんそう げんぱく ざんこく まな  
私たち3年生は長い時間をかけて平和学習をし、戦争や原爆の残酷さについて学びました。

そして、しゅうがくりょこう しりょうかん ひばくにせい かた はなし き じっさい はじ  
そして、修学旅行では資料館や被爆二世の方たちなどによるお話を聞いたりしました。実際、初めて  
み げんぱく ドームや、爆心地の場所を初めて知ったりなどお話を聞いたり見学は本当に学びになるものでした。

そして資料館では、実話やお洋服など様々なものが飾られていて、お洋服にお名前があったり、実際の  
しりょうかん じつわ ようふく さまざま かざ ようふく なまえ じっさい  
被爆者の方の写真も多くあり、どれも見るのが苦しくなるものばかりでした。

わたし おな い ひとたち げんしばくだん せいかつ じんせい おお か くる  
私たちと同じように生きていた人達が原子爆弾により生活や人生を大きく変えられ、苦しめられたこと  
を深く感じました。

そして大阪では自由行動や、お笑いの鑑賞、レクなどたくさん楽しいことがありとても濃い思い出とな  
りました。

しゅうがくりょこう しんけん がくしゅう ぜんりょく たの けいけん じご  
みんな修学旅行ではとても真剣に学習したり、全力で楽しんでいたので、この経験をこれからの事後  
がくしゅう にちじょう い  
学習や日常に活かしていきます。

しゅうがくりょこうじっごういいんちよう  
(修学旅行実行委員長)